

奥多摩 川苔山 山行報告

山行日：12月27日（日）晴れ

山城 山名： 奥多摩 川苔山

メンバー： (CL) 石橋きよみ、井上志津子(記)

コースタイム：8:21 奥多摩駅—川乗橋バス停 9:00—百尋の滝 10:40—川苔山 13:00—
赤杭尾根—16:20 古里駅



百尋（ひゃくひろ）の滝



川苔山（川乗山）1363.3m



赤杭（赤久奈）尾根の杉並木

冬至を過ぎても夕方暗くなるのが早い。そこで新宿6:46発ホリデー快速奥多摩1号の車中集合となった。奥多摩駅8:35発東日原行のバスにギュウギュウになって乗り、15分ほどで川乗橋に着いた。リーダーのスマホから流れるラジオ体操で体を目覚めさせ、よくストレッチしてから歩き始める。寒風が気持ちよいが陽ざしを浴びるとすぐに暑くなり衣服調整。それから1時間で百尋の滝に会えた。尋（ひろ）は長さの単位で1尋は約180cm。大人の両手を広げたくらいの長さ（相当個人差がありそう）だそうで、そうすると約180mの滝ということになるが実は落差30mと本には書いてある。

それから少し急な痩せ尾根となり気を付けて頑張って歩くと頂上は明るく開けて、近くには5年ほど前に一人で登った本仁田山も見えた。西側の山々がよく見える。しばし休憩して昼食の後、写真を撮ってもらって下山にかかった。

午後になり立ち止まって地図を見た後、冷えたようで歩き出したら左ももがキリキリ痛く攣ってきた。葛根湯を飲んだら収まりまたリーダーの後に続く。風邪の治り具合が悪く時にせきと鼻水で悩まされおしゃべりもトーンダウン。足だけは頑張って前へ進めた。それなりに調子も出てきて、赤杭山を過ぎてからはどんどこ降りて、途中1度休んで16時古里（こり）の里に下山した。

確かなルートファインディングのリーダーを追いかけて乾いた落ち葉のカサカサという季節の音が耳にいつまでも残り、元気を確かめた陽だまりハイクでした。

今年も1年間お世話になりました。ありがとうございます。

来年もよろしくお願ひ致します。

どうぞ皆様よいお年をお迎えください。